

助成受給団体名	ふりがな とくていひえいりかつどうほうじんふようどにせんひやく 特定非営利活動法人ふよう士2100
事業の名称	じゃんがら念仏踊り継承育成事業
実施期間	平成26年8月1日 ～ 同26年9月30日
<p>実施した事業の内容</p> <p>いわき市には「じゃんがら念仏踊り」という伝統芸能があります。鉦、太鼓を打ち鳴らしながら新盆を迎えた家などを供養して回る踊り念仏の一種であり、市内では単に「じゃんがら」と呼ばれ親しまれています。そこで当団体は、地域に根付いた伝統芸能継承のために、今年も8月24日と9月23日に「子供じゃんがら念仏踊りセミナー」を2日間にわたって開催。普段触れることのない伝統芸能の道具を直接触り、実際に体験・演奏する機会を創出し、子供たちに「じゃんがら念仏踊り」の素晴らしさを伝えた。その際に踊りや歴史など知識のレクチャーなども取り入れました。伝統芸能「じゃんがら念仏踊り」を通して、地域の連携を深め、子供たちが安心して暮らせるまちづくりに寄与した。今回の助成事業で購入したじゃんがら用太鼓と錫はセミナーの中でも子供たちが使用し、実際に体験演奏を経験。また、太鼓や錫が足りなくて活動に困っていた団体に無料で貸出するだけでなく、いわき市内の子供会やクラブに貸与し、いわき市内の様々な地域活動や文化活動の場面で利用されています。</p>	
<p>事業の成果</p> <p>この夏も太鼓や錫が不足して、活動継続が難しくなった団体に太鼓や錫を貸与し、伝統文化保存に寄与することができました。いわき市内の子どもたちだけでなく、大熊町や双葉町、檜葉町から避難している子どもたちも参加しました。大熊町でもじゃんがら念仏踊りの伝統がある集落もあります。その人たちが3年半ぶりに集まって、演奏をする機会も生まれました。さらに地域に根付いた伝統芸能について知識を深めたり参加できたことで、将来はそれぞれの地域にあるじゃんがら団体の担い手となる子供も出てくることと期待されます。さらに今回セミナーに参加した子供たちが、それぞれの地域で次世代にじゃんがら念仏踊りの伝統文化を語り継ぎ、技術を伝えることによって、西暦2100年の未来がふるさとを愛する人であふれるようになることが期待されます。</p>	
<p>今後の課題 ・ 帰還困難区域で震災前から続いてきた「じゃんがら念仏踊り」の文化伝統を守り続けるために、いわき市内でのじゃんがら念仏踊りの文化伝統芸能保存活動ともに一緒に「じゃんがら念仏踊り」に携わる人だけでなく、だれでも気軽にじゃんがら念仏踊りに参加することができる環境づくりを継続して取り組んでいくことが必要です。さらに避難先でも「じゃんがら念仏踊り」を体験し、市民が気軽に語り続けられるような環境づくりが必要です。</p>	

